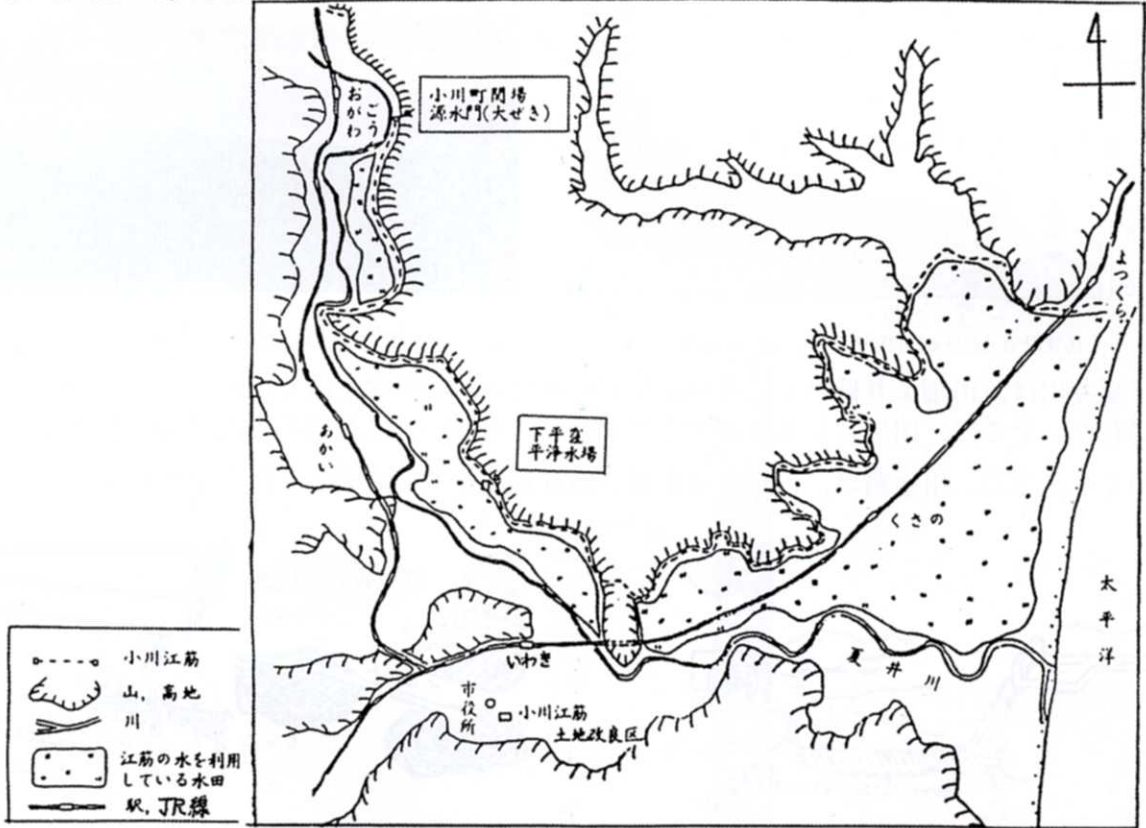


5 きょうどにつたわるねがい

(1) 小川江筋のようす

なぜ、このような水路がつくられたのでしょうか。

○ 小川江筋の水路図



小川江筋は、およそ350年前、平藩の事業として家臣の沢村勘兵衛勝為が工事を起こし、長い年月をかけて完成したと伝えられています。小川町関場から夏井川の水を取り入れ、水路の長さはおよそ30km、山ぎわを通し、約1200haの水田をうるおし、平、四倉を通って仁井田川につながっています。現在は、水道の水としても使われています。



取入口のようす (夏井川)